|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 2025第1,2,3 RUTC永遠の答えの始まり(33)　 (社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr | | | | | |
| 2025年8月16日　週間祈りカード | | | | | |
| △産業宣教/金土日時代のやぐら29  癒やしは基本使命である(マタ8:17) | △RTとTCK伝道学/三つの庭のモデル29  多民族の祝祭(使2:9-11) | | | △核心  なぜ、答えがないのでしょうか(使1:1-8) | |
| △皆さんが礼拝を差し上げるときや、礼拝するとき、最も重要なのは今日の答えが何かを見つけることだ。それも生きている答えでなければならない。  「癒やしは基本使命だ」  癒やしに関する私の答えを見つけなければならない。牧師が人を癒やすことができる答えがないならば本当に困る。一般信徒として病人に会ったとき、答えを持っていなければならない。パウロも霊的問題がある人を癒やしてキリストを伝えた。それゆえ、癒やしは基本使命だ。それなら、今日、私はどんな答えを握るべきなのか。「これ以上、病まないように癒やすこと」が重要だ。  1.個人癒やし  -根源癒やし、  -刻印されたこと癒やし、  -再創造する癒やしをしなければならない。  2.産業癒やしは生活を癒やすこと。  根源癒やしを維持するためには、生活を癒やさなければならない。  サタンの戦略12に十分に勝つように、また、ここから抜け出すようにさせなければならない。これをそのまま置いていて使13、16、19章になったのだ。これが生活になって産業になった。今３団体がする運動が産業になっている。日本は偶像システムが産業になっている。総理もそこに行ってお辞儀をする(政治化)。  -ネフィリムを癒やすのだ。私はどのように働くのか、答えを見つけるのが今日の答えだ。  3.現場癒やしで重要なのは教会信徒の癒やしからだ。必須の条件だ。  サタンの戦略５つに教会が関わっている。  1.「どうして異邦人の家で食事をするのか」  2.宣教地で教会信徒が「ユダヤ人の法を守らなければ」  3.今までしてきたこと、私の考え、主張が重要(Ⅱコリ10:4-5)。サタンが作った要塞。  4.ヨハ16:11-14にサタンがこの世を支配する者  5.世の中がこと好きで、お金ならすべてだと言う。サタンがこの世の神。これを癒やすことができる人(リディア、ヤソン、プリスカ)をパウロがあちこちに立てた。ティラノに行って弟子を別に立てたのだ。最後のローマまで。  □結論\_証人  病気になったのは、癒やし使命の始まりだ。神様がなぜ私を病気にされたのか、私がなぜがんになったのか。証人。  △今日も、明日も鍵は、生きているみことば、生きている答えを発見しなければならない。神様は私たちを証人として呼ばれ、地の果てまで行けるように力を与えると言われた。ほかのことではできないので「ただ」と言われた。それゆえ、私たち1人が重要で、私たちが生きる生活が重要だ。 | □序論\_小さくて正直な祝祭  多民族レムナントに小さくて、それでも正直な祝祭が起きなければならない。この多民族が来て、自分の人生の最も重要な答えを得なければならない。それゆえ、祝祭なのだ。  □本論  1.使2:9-11ミッション祝祭  1)使2:1-4多民族に三つの祭りを話しながら五旬節を話さなければならない。  2)使2:17-18礼拝-「息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る」未来だ。  3)使2:9-11 15か国が来た。その国に関するミッションを持って帰らなければならない。  2.癒やし祝祭  1)使3:1-12これは全世界にいる民族に伝えられるメッセージだ。神殿の美しの門は世界的な場所だ。祭りの時ごとに全世界のユダヤ人やユダヤ人と関係している人が来る。そこでナザレのイエス・キリストの名によって足の不自由な人が起きたのだ。 | | 2)使8:4-8捨てられた多民族-サマリアに多くの多民族が来ているが、ユダヤ人は共存しなかった。ここに福音が宣べ伝えられて癒やし祝祭が起こった。  3)使8:26-40エチオピアの宦官が神様のみことばの巻物を買って読んで、キリストについて質問した。「聖霊がピリポに、主の霊が」すばらしい癒やし祝祭が起こった。  3.派遣祝祭  1)使17:1会堂に行った。未来の世界を置いて  2)使18:4  3)使19:8  全世界を置いて弟子を派遣するのだ。  □結論\_メッセージ  私たちは常にみことばを受けた時は今日の答えを見なければならない。それゆえ、今回、来た人と大統領や総理に感謝、または励げますあいさつを送る必要がある。 | □序論\_祈りの答えがない理由  先に知るべきことを知ってこそ、決定を正しくして、先にすべきことが出てくる。すると、答えはついてくる。  →祈りの答え、みことば成就、世界福音化は今でも成り立っている。これのほかは答えではない。ほかのことは過程だ。  先にすべきこと  1先に確認(CVDIP) -あらかじめ見えるみことば(C)、あらかじめ持つようになるビジョン(V)、あらかじめ味わうようになるドリーム(D)、あらかじめ征服(I)、あらかじめ成就(P)  2先に現場を見るようになる。  3神様が先に準備しておかれたこと(弟子)が見える。  □本論\_実際の答えの始まり  1.使2:1-4祈りの流れ  1)神様がくださった課題  2)神様がくださる課題  3)まことの答えは神様のみことばと世界福音化と祈りの答え  2.使2:14-21みことばの流れ  1)永遠の問題と答え-サタンから出てきた12の問題、解決はキリスト  2)教会が逃したこと- ５つ  3)今日-成就するみことばだけが答え  3.使2:9-11伝道の流れ  1)学業と産業の水準は237-5000  2)RT、TCK、CCK、NCKと合わなければならない。  3)その時刻表の中にいるようになる。五旬節の日になって、わたしは主。時がくれば速やかにそれをする。  4.使2:17-18、46-47現場の流れ  1)聖霊の導き　2)聖霊の働きでネフィリムを砕く  3)聖霊の実で持続  5.使2:10一つの国の流れが見える。  1)マタ28:16-20弟子  2)マコ16:15-20癒やし  3)使1:1-8皆さんに与えられる本物の力-ただ聖霊によって。これでこそ世界福音化できるる。  □結論\_未来が見え始める  1.７やぐら祈り-成就するみことばが臨むと未来が見える。  2.７旅程祈り-みことばが成就する。  3.７道しるべ祈り-まことの復興が起こり始める | |
| △散らされた弟子たち/7∙7∙7のモデル29  隠されたことを見る弟子(ロマ 16:25-27) | | |
| 必ず散らされた弟子たちを通して最後の三つを見る。  1.神様がいよいよ皆さんに隠された弟子を立てるだろう。  2.神様は未信者は全く見ることができない隠された現場を見せるだろう。  3.皆さんに隠された未来を与えると言われた。 | | 散らされた弟子たちが、特に歩んで行くべき道だ。このように世界福音化は成し遂げられる。WRCを通して、多くのことが成就した。必ず暗闇に覆われた国に福音は証しされる。私たちが受けるすべてのことは過程だ。重要なメッセージを与えるための過程、未来を知らせるためのメッセージだ。ただ答えは神様のみことばが成就すること、神様がくださる私たちの祈りの答えが成し遂げられること、世界福音化が起こることだ。 |
| 2025第1,2,3 RUTC永遠の答えの始まり(33)　 (社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr | | | | | |
| 2025年8月17日　週間祈りカード | | | | | |
| △区域メッセージ第33週/4部世界を生かす見張り人  やぐらを建てなさい(イザ 62:6-10) | | △聖日１部  正確な契約を持った人々(ダニ1:8-9) | | | △聖日２部/神殿建築献身礼拝  神殿建築は答えを先に受けること(Ⅰサム16:13) |
| 多くのレムナントが家庭と周囲の状況で困難にあう。どのようにすべきなのか。イエス様が答えを与えられた。奥義やぐらを建てなさい。すると、未来の心配をせずに済む。どんな問題が来ても大丈夫だ。証拠、250年間、迫害を受けたのに大丈夫だった。やぐらを祈りで、みことばで作ることができる。このようにする理由は何か。  □序論\_ネフィリム  私も知らない間にネフィリムやぐらが建っている。  ７やぐら-最も鍵は「完了した」御座の背景でともにいる。  ７旅程-一番重要なのは一生の答えを味わうキャンプだ。キャンプは光を放つことだ。ほかの人も生かして、私自身も生かす。  ７道しるべ-一番重要な答えはローマだ。ここに行けば237が来ていて、237に行けば5千種族が来ている。TCKが5千種族の道だ。これから大きな危機は伝染病だ。そのすべての原因が5千種族からみな来る。多くの資源も5千種族にある。  1.RT7人はこの答えを受けて、237-5千種族に行った。  2.ヨケベデ、ハンナ  3.Iサム7:1-15、16:1-13サムエルとダビデがこれを見たのだ。  Iサム17:1-47ペリシテの将軍ゴリヤテがきて自分たちが崇拝する神の名でイスラエルとダビデを呪った。それとともに「主を信じる者」出てこいと言ったのだ。それゆえダビデが「私はおまえがなぶる万軍の主の御名でお前に立ち向かう。おまえの命が主にあって、救いは剣にはなく、主の御手にあることを証明する」と言った。  □本論\_この契約を味わえば来る三つのこと  1.プラットフォーム個人と産業にプラットフォームが作られる。  1)７やぐら　最も重要なのが７やぐらだ。やぐらがあってこそ人が来る。  2)300%が出てきて、ほかの人と未来を生かす300%の答えが与えられる。  3)記念碑　次世代まで生かす記念碑の祝福がプラットフォームとして来る。  2.見張り台　このときから、ほかの人を生かすようになる。  1)７旅程　光があってこそ光を照らして旅程を行く。  2)Healing　すると暗やみにいる人を治すようになる。  3)Summit　ほかの人を生かすようにこの光を照らすのでサミットになる。  3.御座のアンテナを分かってこそ、祈りが何かが分かる。  1)７道しるべを行くことだ。  2)絶対やぐら　カルバリの丘からローマまで建てることだ。  3)それゆえ、私が、私の家がMHで、地教会で、RUTCだ。  □結論\_ 237、5000、TCK  このやぐらを建てれば来る祝福が237、5000、TCKだ。私たちの中にあるいのちの光は全世界と通じるようになっている。 | | □序論\_生きて働くみことばを握りなさい-礼拝と祈りの基準  1.神様のみことばでサタンを退けたイエス キリスト(マタ4:1-11)  1)肉的なこと　　2)名誉心と自尊心  3)礼拝対象を(礼拝)変えろという試み  2.歴史的な例-生きて働くみことばを握って勝利した人々  1)ロックフェラー　2)ワナメイカー  3)リンカーン(ガラ3:28) 　4)ジョン・バニヤン(天路歴程)  3.聖書の例-生きて働くみことばを握って勝利した人々  1)ヨセフ-生きて働くみことばを握ったが行く所ごとに働き  2)ヨケベデ-生きている契約とみことばを持ってモーセを王宮に送った。  3)モーセ-血のいけにえをささげに行きなさい。  4)ヨシュア-カナンの地をすでに与えた。あなたとともにいる。  5)遊女ラハブ-噂を聞いて、生きて働くみことばを握った。  6)エレミヤ-生きている神様のみことばが臨んだ。  7)ダビデ-生きて働く神様のみことば成就を握った。  △私が礼拝をどのようにささげて、六日間どのようにしなければならないのかをキャッチすべきだ。  □本論\_捕虜になったときに心を定めたダニエル  1.成就する契約を握った-インマヌエル(イザ7:14)  1)レムナントが起きて回復することになる(イザ6:13)  2)永遠に働くみことば(イザ40:8、31) 3)みことばの力(イザ43:18-19)  4)起きて輝け(イザ60:1-22)  5)見張り人(イザ62:6-12)  2.成就する場所と時刻表を握った。  1)エジプト時代大きなわざわい、危機のとき-みことばの力が臨む働き  2)ペリシテの攻撃-生きて働くみことばの中でダビデが現れて打ち砕いた。  3)アッシリアの侵略-みことばの力が働くように祈ったヒゼキヤ(Ⅱ列19:35)  4)アラムの攻撃-生きて働くみことばが宣言されるドタンの町で、戦わずに勝利したエリシャ(Ⅱ列6:8-23)  3.成就した契約の中にいた-イザヤのみことばを聞いて力で満たされた人々  1)偶像にお辞儀をすることができないといったシャデラク、メシャク、アベデ・ネゴ(ダニ3:16-18)  2)普段から祈ってみことばの力を味わっていたダニエル(ダニ6:10-22)  3)エステル(エス2:10、4:14-16)  □結論\_生きて働くみことば  1.貧しさ、無能、病気-神様の契約のみことばが働くように挑戦した。  2.困難-神様の生きて働くみことば整理→世界福音化が起きた。  3.これから生きて働くみことばを握りなさい-5千種族  △あきらめてはならない。私の考えで霊的なことを制限してはならない。 | | | 神殿建築という契約を持った者には答えが先に与えられる。世界福音化と神殿建築は神様が完成させておられるが、私たちが世界福音化と神殿建築にどのように参加して祈るのかが重要だ。  □序論\_ダビデにミッションが与えられたその時から主の霊が激しく下った。  1.三位一体の神様の霊　　2.御座の力がダビデに臨んだ。  3.すべてに勝利するようにされた。4.すべてのこと-答えだった。  5.WIOS 　6.OURS 　7.やぐら、旅程、道しるべをダビデにくださった  1.生きて働くみことばのミッション(正確な契約)を受けた  2.時代のミッション　　3.個人のミッション(神殿建築)を与えられた  □本論\_この日以来-正確なミッション握って決断を下した日  1.神殿祝福の流れを見るようになる。  1)三つの祭りから始まった流れ(みことば、祈り、世界福音化の流れ)を見たこと。救い、御座、聖霊の働きをいつも味わえば、働きが起こる。  2)幕屋中心運動  3)契約の箱-永遠の神様のみことばが記録されている石の板、マナが入った壷、アロンの芽が出た杖(みことばを握って礼拝するとき、いのちが出てくる)  4)御座の力が現れる至聖所の中に契約の箱を置いた  5)キリストのすべての恵みを説明する契約がある聖所  △キリストの御名で至聖所に入ることができる驚くべき契約が与えられたのだ。  2.力体験  1)詩78:70-72世界福音化の契約を握る瞬間、次世代にダビデに与えられた未来を植えてくださる。  2)Iサム16:1-13(油)-聖霊の満たしを注がれた。  3)Iサム16:23ダビデが賛美するとき、悪霊が逃げ去る  4)Iサム17:1-47簡単にゴリヤテに勝った。  5)詩23:1-6苦難を十分に勝ったダビデ-主は私の羊飼い、乏しいx  △生きて働く神様のみことばを持って六日間現場に入ること  3.一生の答えが始まった。  1)ダビデの町を完成(Ⅱサム5:7)  2)契約の箱をダビデの町に移す(Ⅱサム6:1-23)  3)1千のやぐらを建てた。  4)神殿準備(3つの庭)(I歴29:10-14)  □結論\_創1:3創造の力で続いて働かれる契約を握りなさい。  1.Iサム16:1-13 「一生の決断」を下した  2.I歴29:10-14 「一生の献金」をささげた  3.次世代のための一生の準備  ※生きている今日のみことばを握らなければならない。  △次世代と世界のために三つの庭を準備しよう。契約だけ握れば良い。その結果は神様にささげれば良い。ダビデは初めから神殿準備をミッションとして握った。それゆえ一生重要な答えを受けた。 |